

【参考1】一般財団法人 日本気象協会について



日本気象協会は、民間気象コンサルティング企業の先駆けとして1950年に誕生。防災・減災や洋上風力発電の分野以外にも、気象データを活用した商品需要予測や電力需要予測、気候変動対策などのコンサルティングを通じ、気象データのビジネスでの利活用を提案しつづけている。所属する気象予報士の数は350人を超え、日本最大級の規模を誇る気象の専門家集団として企業のESG投資やSDGs活動への支援も積極的に展開中である。<https://www.jwa.or.jp/>

・日本気象協会が推進する「熱中症ゼロへ」プロジェクトの概要



熱中症にかかる方を減らし、亡くなってしまう方をゼロにすることを目指して、一般財団法人 日本気象協会が推進するプロジェクト。2013年夏のプロジェクト発足以来、熱中症の発生に大きな影響を与える気象情報の発信を核に、熱中症に関する正しい知識と対策をより多くの方に知ってもらう活動を展開してきた。活動12年目となる2024年は「地球沸騰化時代の熱中症対策」をテーマに、熱中症の予防啓発活動を実践する。気象災害のひとつである熱中症への防災意識を高め、暑さに備えるための情報発信を強化する。

<https://www.netsuzero.jp/>

※「熱中症ゼロへ」は日本気象協会の登録商標



【参考2】東京都の情報発信サイト「熱中症対策ポータルサイト」



東京都の熱中症対策とあわせて、都民・関係者の方の熱中症予防に役立つ情報をご紹介します。本事業の取組についても、今後紹介していく予定。

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/heat_island/heatstroke